

第二十九日目

師 範：1492年にコロンブスはスペインの王の支援で航海することになりました。



インドをめざして西回りで出航しました。

ポルトガルは東回りでインドをめざしました。

しかし今の大西洋を行けども行けども陸地は見えませんでした。

ようやく着いた島をインドと信じこんでいました。

それはアメリカ大陸の一部でしたが、当時のコロンブスにはわかっていませんでした。

1492年 コロンブスがアメリカ大陸を発見する。

この年を覚えましょう。

コン太：これでいかがでしょうか。



「スペインに**一見よく似た**アメリカ大陸」

1は「**一見**」の「**一**」として、492は「**よくに**」と読みました。

ペン太：お母さんは



「**いしくに**」

と覚えたそうです。

これはただ数字にひらがなを当てただけですが。

師 範：コロンブスがポルトガルから出たのではなく、スペインから出たということにこだわった作品ですね。

とてもよいことです。しっかり区別して理解しておきたいことですから。

中南米にスペイン語を使う国が多いのは、このことからきていますからね。

インカ帝国をほろぼしたのもスペイン人ということがわかりますよね。

またカトリックを信仰する国が多いこともこのことからきています。

ただし、コロンブスはイタリアの人ですよ。

航海のスポンサーがスペイン王ということですよ。